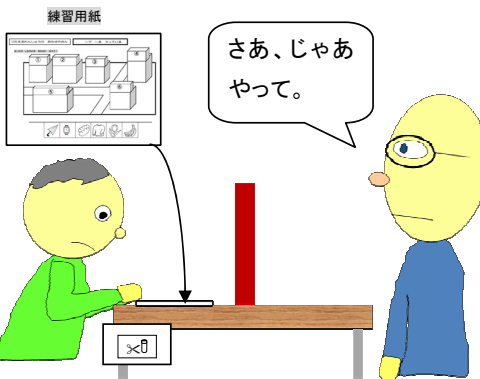
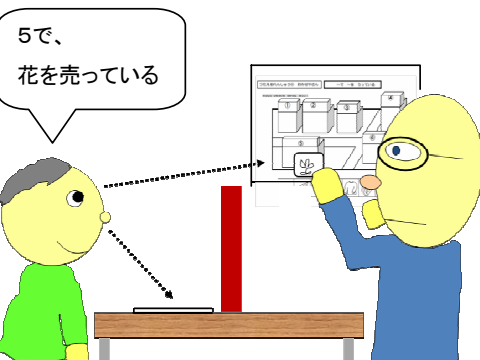
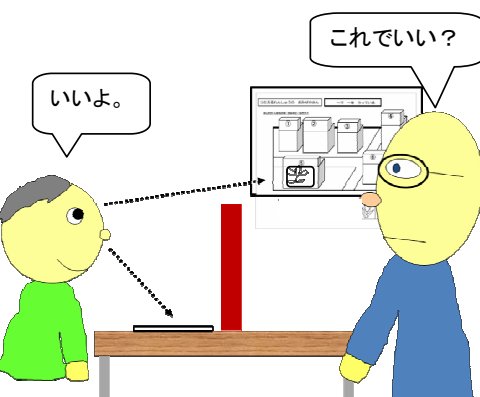
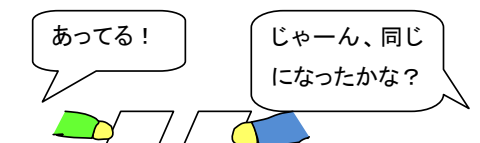


練習の進め方

「つたえる練習」は、相手に、情報を伝達するワークです。

練習は、情報の受け取り手が、発信者の情報を見ることができないように、遮蔽物で二人の間を遮る形で行います。そのようなコミュニケーション・ギャップの状況の中で、相手に、自分の持つ情報を伝達します。以下、進め方の手順を示します。

練習タイプ I：子どもが指導者に対して情報を発信する練習

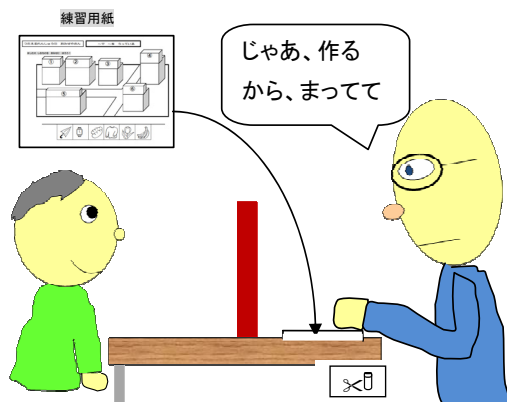
1 子どもと指導者が、各練習課題の用紙を1枚ずつ分け合います。そして、お互いの手元が見えないように、箱などの衝立(ついたて)を立てます。 2 まず、子どもに、各課題で設定された状況を作らせます。(事物絵のピースを切り取って所定の場所に貼る) ◎子どもが課題の進め方が分からない場合、介助者が横で、作業やそれに続く伝達方法を指示します。	練習用紙  さあ、じゃあやって。
3 伝達する状況が完成したら、各課題で設定されている文型パターンに合わせて、子どもが受け手に、情報を伝達します。 4 子どもからの指示に従って、受け手は、自分の用紙にピースを貼る作業をします。その際、受け手は、用紙を掲げて作業を行い、作業の結果を、子どもに逐次、見せるようにします。	5で、花を売っている 
5 受け手は、ひと作業ごとに、結果を子どもに示して、正しいかどうか(子どもの用紙の状況と同じかどうか)を、確認させます。	これでいい？ いいよ。 
6 情報の伝達がすべて完了したら、衝立を取り外して、用紙を見比べ、情報が正しく伝わっているかどうかを確認します。	あってる！ じゃーん、同じになったかな？ 

練習タイプⅡ：指導者が子どもに対して情報を発信する練習

1 子どもと指導者が、各練習課題の用紙を、1枚ずつ分け合います。そして、お互いの手元が見えないように、箱などの衝立を立てます。

2 まず、指導者が、各課題で設定された状況を作ります。(事物絵のピースを切り取って所定の場所に貼る)

〃

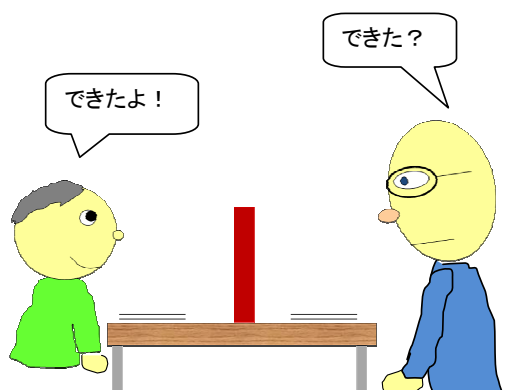


3 伝達する状況が完成したら、各課題で設定されている文型パターンに合わせて、指導者が子どもに、情報を伝達します。

4 指導者からの指示に従って、子どもは、自分の用紙にピースを貼る作業をします。



5 指導者から子どもへの情報伝達の場合は、作業の逐次確認が難しいため、すべて出来上がってから内容を確認します



6 情報の伝達がすべて完了したら、衝立を取り外して、用紙を見比べ、情報が正しく伝わっているかどうかを確認します。

